

教科指導

実践のヒントとアイデア

※学習活動の実施に当たり、新型コロナウイルス感染症に関わる各自治体の対応方針を踏まえるなど、子供の安全確保に十分配慮してください。

小学四年生



国語

場面の様子をくらべて読み、感想を書こう
事実を分かりやすくほうこくしよう



算数

四角形
2けたでわるわり算の筆算



体育

連続技に挑戦！ マット運動
器械運動 ～マット運動～
バディとバッチリ！ スイススイ水泳運動
～水泳運動～

領域 C読むこと

場面の様子をくくって読み、感想を書こう

教材名 「二つの花」

光村図書 四年上

執筆 青森県田舎館村立田舎館小学校教頭 庭田瑞穂
編集委員 文部科学省教科調査官 大塚健太郎
大妻女子大学准教授 権山敏郎

年間指導計画

- 4/5月 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう
筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう
- 6/7月 場面の様子をくくって読み、感想を書こう
新聞を作ろう
- 8/9月 あなたなら、どう言う
気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう
- 10/11月 クラスみんなで決めるには
中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう
- 12/1月 感動を言葉に
きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう
- 2/3月 もしものときにそなえよう
読んで感じたことをまとめ、伝え合おう

1 単元で身に付けたい資質・能力

①身に付けたい資質・能力

本単元では、登場人物の気持ちの変化や性格、情景を場面の移り変わりと一緒に読み取れる力を付けます。単元の導入では学習の目的を明確にするとともに、比べて読むという読みの観点を示します。そのうえで登場人物や情景に着目して読むようにします。

②言語活動とその特徴

子供たちが読みたいという思いをもつようになるためには、読む目的を明確にすることが必要です。そこで、本単元では題名に着目し、なぜ、作者がこの題名にしたのかということに疑問をもつようにします。

この疑問の解決に向かって作者の思いや願いに寄り添い、登場人物の気持ちの変化を情景の移り変わりと結び付けながら読むようにします。

題名にある「一つ」という言葉は、全文を通して使われています。そのときで、この言葉には、登場人物の思いや願いが込められています。また、場面の状況とも関係しています。この言葉に着目して読むことで、場面ごとの登場人物の心情の変化や性格、情景を読むことができます。また、題名を「一つの花」にした作者の意図も推論することができます。本単元では、最後に自分の考えを感想にまとめ、お互いの感想を交流し、考えを広げます。

指導事項（知識及び技能）（1）オ（思考力・判断力・表現力等）C（1）イ、エ 言語活動 イ

2 単元の展開（7時間扱い）

次	時	主な学習活動
一	1・2	①全体を読み、物語の構成（登場人物・場面の様子など）について捉える。 ②物語を読んだ感想や疑問を伝え合い、学習課題を考える。 アイデア①
二	3～5	③「一つ」という言葉の出ている場面を見付ける。 ・時間や場面の違いに着目して場面に分け、「一つ」という言葉を見付ける。 ④誰が・どんな場面で・どんな気持ちで使っているのかを考える。 ・ゆみこ、お母さん、お父さん、それぞれ「一つ」という言葉に対しての思いの違いを読む。 アイデア② ⑤最後の場面に「一つ」という言葉が使われていない理由を考える。 ・最後の場面には、なぜ「一つ」という言葉が使われていないのかについて考える。
三	6・7	⑥題名「一つの花」について、考えたことを感想にまとめ。 ・作者の考えを推論しながら自分の考えをまとめる。 アイデア③ ⑦感想を読み合い、お互いの考えを交流する。

アイデア① 作者の意図を探る課題設定

主体的な学び

単元の導入では、「一つの花」の初読後に、題名に着目させます。これまでに読んできた物語を想起し、題名がどのようなものであったかを考え、改めて作者がなぜ題名を「一つの花」にしたのかということを考えるようにします。

「これまで読んだ物語の題名」

・登場人物の名前………「かさごじぞう」「くじらぐも」

・物語のなかに出てくる物……「お手紙」「白いぼつ」

国語の学習のなかで読んできた物語の題名や日常の読書で読んだ本の題名を想起することで、どのようにして題名がつくられているのかを考えるようにしましょう。

そして、題名に込められた作者の意図に問題意識を高めながら主体的に学びを展開していきましょう。

「お手紙」という題名は、がまくんとかえるくんを幸せにした、宝物という意味が込められているね。



登場人物の比べ読みの交流

アイデア ②

対話的な学び

題名にある「一つ」という言葉は、登場人物3人（ゆみ子・お母さん・お父さん）それぞれが使っています。場面の状況に合わせて登場人物の思いが込められた言葉です。その一つ一つを読み比べながら「一つ」に込められた思いを読むようにします。場面ごとに読み比べるためには、登場人物に注目した次のようなワークシートを活用し、互いの読みの交流につなげましょう。

ワークシート例

かだい 登場人物はどのような気持ちで「一つ」という言葉を使っているのだろうか。	登場人物（お父さん） こんな人
場面 どんな言葉	場面の気持ち
二 一つだけのにぎりめし 一つだけのかぼちゃのにつけ みんな一つだけ 一つだけのよろこびさ 一つだつてもらえないかもし れないんだね	たった一つしかあげることができなくてすまない。 それぞれの「一つ」について、登場人物の気持ちを考えるだけでなく、場面全体を通して「一つ」という言葉の意味をまとめて交流しましょう。



感想をまとめるための手立て

アイデア ③

深い学び

感想をまとめるという活動は、課題に対する自分の読みを自分の言葉でまとめることです。ここで必要なのは、どのようにまとめるかよいかを指導することです。まとめた後には感想の交流を行うので、相手意識、目的意識を明確にもって、相手に分かるようにまとめることが大切です。本単元のねらいは、なぜこの題名になったのかを考えることが中心です。そのため、まとめにはこの課題に沿った自分の感想をまとめることが必要となります。そこで、次のようなワークシートを活用し、子供たちが思考を整理しながら感想をまとめることで深い学びを実感できるようにしましょう。

ワークシート例

このお話の題名は「一つの花」です。なぜ、作者がこの題名にしたのかを考えてみました。

その理由は、（ ）つあります。

一つ目は

二つ目は

作者はわたしたちに

を伝えたかったのだと思いました。

理由をまとめるときは、叙述に書かれている内容を取り上げること、自分の考えたことをまとめるようにすることが大切です。

感想の最後には、登場人物に対しての考えをまとめます。登場人物ごとに「一つ」という言葉を作者がどのように使ったのかを思い出して使ったのかをまとめたワークシートの記述をふり返らせるようにします。そして、作者が何を伝えたかったのかも考えるようにしましょう。



「一つの花」の作者である今西祐行の作品には「ヒロシマの歌」や「はまひるがのおの小さな海」などがあります。作者に視点を置き、読み比べることで作者の願いや表現の特徴を読むことができます。

このような読み方を体験することで新しい本の読み方に気付くことができるでしょう。

領域 B 書くこと

事実を分かりやすく

ほうこくししよう

教材名「新聞を作ろう」

光村図書四年上

執筆 筆/神奈川県横浜市立田名北小学校指導教諭 荒木昭人
編集委員/文部科学省教科調査官 大塚健太郎
大妻女子大学准教授 榊山敏郎

荒木昭人
大塚健太郎
榊山敏郎

年間指導計画

- 4/5月 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう
筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう
- 6/7月 場面の様子をくらべて読み、感想を書こう
新聞を作ろう
- 8/9月 あなたなら、どう言う
気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう
- 10/11月 クラスみんなで決めるには
中心となる語や文を見つけるに要約し、調べたことを書こう
- 12/1月 感動を言葉に
きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう
- 2/3月 もしものときにそなえよう
読んで感じたことをまとめ、伝え合おう

1 単元で身に付けたい資質・能力

①身に付けたい資質・能力

本単元では、書くことを通して伝える際に、集めた情報を比較したり分類したりして、伝えたいことの中心を明確にする力を付けます。その際、「誰に對して」という相手、「なんのために」という目的を意識し、経験したことから書くことを選ぶことができるようになることが重要です。また、相手や目的を意識した表現になっているか確かめて、文や文章を整えることも大切です。

②言語活動とその特徴

新聞は、日常生活で目にする機会が多いこともあり、情報伝達の手段として身近なものと言えます。本単元での新聞作りの学習経験は、社会科や総合的な学習の時間などにおいて活用されることとなります。

新聞は、複数の情報を組み合わせて編集するという特徴があります。そのため、必要な情報を集めるだけでなく、集めた情報を目的に応じて比較したり分類したり、関連付けたりすることが重要になってきます。新聞を作るためには、見出しやリード文を書く必要があります。ここでは、それまでの学習で身に付けた「要約する力」を発揮することが重要になってきます。

指導事項〔知識及び技能〕(2)イ(思考力・判断力・表現力等) B (1)ア、イ、言語活動 A

2 単元の展開(12時間扱い)

次	時	主な学習活動
一	1・2	①教師が提示した2種類の新聞を比較することで、新聞作りの特徴をつかむとともに、学習の見通しをもつ。アイデア① 学習課題 伝えたいことの中心を明らかにし、分かりやすい新聞を作ろう。 ②新聞を作成するグループを決め、テーマについて話し合う。時間の見通しをもち、学習計画を立てる。
二	3～9	③教材文を読み、新聞の作り方の手順・取材の方法などについて確かめる。 ④⑤⑥取材を行い、取材して集めた情報を比較したり分類したりして記事を書くときに使うものを選ぶ。 ⑦新聞の題名やトップ記事を決め、割付けについて話し合う。アイデア② ⑧⑨割付けに基づいて記事の下書きを書き、伝えたい内容が分かりやすく示されているか、グループで話し合う。アイデア②
三	10～12	⑩グループで下書きを読み合い、推敲して見出しを決める。アイデア③ ⑪清書をし、新聞を仕上げる。 ⑫完成した新聞を交流し、感想を伝えるなどして学習を振り返る。アイデア③

アイデア ① 学習のゴールイメージの共有と学習の見通し 主体的な学び

単元の導入では、さまざまな新聞を読み、新聞の特徴について検討します。この活動を通して一般的な新聞の特徴をつかむことはできるものの、自分たちが作る新聞のイメージをもつことが難しい子供もいます。そこで、教師が作成した新聞を提示することで、活動のゴールイメージをもつことにつながり、意欲も高まります。

【例1】

テーマ：学校行事

記事：運動会について

※ベン図を使って、情報を比較し、記事の内容を検討する場面

運動会について
みんなの感想

運動会を見に来た
れたお家の人の感想

50m 走で2位になれてうれしかった。

〇〇ダンスは大成りだった。練習してきたよかった。

つなぎきははく力があってとてもよかった。

つなぎきで一度も勝てなかった。くやし。

〇〇ダンスは四年生の心が一つになっていようだった。感動した。

おうえん合戦は、みんなの声が出ていて、かつよかった。

みんなの感想とお家の人からの感想を比べてみると、ダンスについて満足していることが分かったよ。ダンスのことを記事にするのはどうかな。



うん、それがいいね。「〇〇ダンス、大成り!」という見出しにしたなら、みんなの感想とお家の人の感想の両方を生かした見出しになると思う。



教師自身が新聞を作成することは、新聞作りの過程における指導のポイントをつかむことにつながります。教師が身に付けさせたい資質・能力を自覚しながら、新聞作りに取り組むことができるようにすることが重要です。

アイディア ②

「比較」「分類」などの思考を發揮させる場面の設定

深い学び

本單元において中心となるのが「比較」と「分類」です。「比較」とは、複数の情報を比べることです。「分類」とは、複数の情報を共通の性質に基づいて分けることです。このように思考を具体的に記述した言葉を「考えるための技法」や「思考スキル」と呼ぶこともあります。ここでは、「例1」ベン図と「例2」Yチャートを用いたワークシートなどを準備することが考えられます。観点に即して見方・考え方を出し合いながら検討し、比較したり分類したりしながら、記事の内容を決定していく過程が深い学びにつながります。

■集めた情報を分類する場面

【例2】

テーマ：地域の行事について

記事：〇〇祭り実行委員のお話を聞いて

※実行委員さんにインタビューをして感じたことをYチャートを使って分類し、記事の内容を検討する場面

すごいと思ったこと

実行委員の方たちは、お仕事が終わってから、夜おそくまで話し合っている。

〇〇祭りは10年前から始まったのは分かったけど、なぜ〇〇祭りを始めたのかは分らなかった。

〇〇祭りに参加する人が少しずつへっている。

どうして実行委員の人たちは、こんなにがんばって〇〇祭りのじゅんびをしているのか。

実行委員の人が高レベルになり、実行委員になってくれる人を探している。

もう少し聞きたいこと

心配なこと

〇〇祭りの実行委員さんたちが、〇〇祭りのためにがんばっていることが分かった。そのことを学校の人に伝えたいと思ったよ。



それもいいと思うんだけど、心配なことも伝えたいな。「大人になったら〇〇祭りの実行委員になろう」という人が増えたら、心配なことが減っていくかもしれないから。

アイディア ③

視点を明確にした下書きの交流と見直し

記事の下書きをした後、同じグループの友達と書いた記事を読み合い、それぞれの記事について検討する場面を設定します。読み合う際、視点を明確にし、必要に応じて下書きを見直すことが大切です。

視点の例として、「最初にいちばん言いたいことを書く」「事実が正しく伝わるように書く」「内容を知らない人が読んでも分かるように、必要箇所には説明を加える」「写真や図、表を使って分かりやすく示す」などが考えられます。特に、新聞で情報を分かりやすく伝えるには、絵や図、グラフなどを入れることが大切です。グラフなどを作成する際は、算数で学習したことを活用して分かりやすくまとめるよう指導しましょう。

ここが事実で、ここが感想だね。とても分かりやすく書いていいね。

一番伝えたいことを最初に書くようにすると、もっと分かりやすい文になると思うよ。



この文章は、初めて読む人のためにもう少し詳しく説明したほうがいいんじゃないかな。

ここに写真を入れると、伝えたいことがもっと伝わる記事になるよ。

対話的な学び



四角形

執筆/福岡教育大学附属小倉小学校教諭 楠木大二郎
 編集委員/文部科学省教科調査官 笠井健一
 福岡教育大学教授 清水紀宏

年間指導計画



4/5月	折れ線グラフ 1けたでわるわり算
6/7月	四角形 2けたでわるわり算
8/9月	がい数 倍
10/11月	計算の順序 面積
12/1月	変わり方 小数のかけ算わり算
2/3月	分数 直方体と立方体

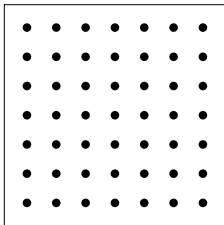
本時のねらい (本時 7 / 14時)

ジオカードの点をつないで構成した四角形を辺の平行性に着目して分類する活動を通して、台形と平行四辺形について理解することができる。

評価規準 台形と平行四辺形について理解することができる。(知識・技能)

問題

右のカードの点をつないで、四角形をつくみましょう。



- T : どんな四角形ができましたか。
- C : でこぼこな四角形ができました。
- C : 平行な辺がある四角形ができました。
- T : どの四角形にも、平行な辺はありますか (近くの友達と確認させる)。
- C : 平行な辺がない四角形もあります。

※正方形に点を印刷した「ジオカード」の点と点をつないで、四角形を構成する活動を行います。自分や友達が構成した四角形のなかに平行な辺がある四角形を見だし、辺の平行性に着目し、四角形を捉えていくというめあてを子供と設定していきます。

見通し • 平行な辺がある四角形 • 平行な辺がない四角形

👍 学習のねらい 平行な辺に目をつけて、四角形について調べよう。

※子供たちがつくる四角形はまちまちですので、本時のねらいが達成できるように、教科書を参考にジオカードで台形、平行四辺形、どちらでもない四角形を5～6つ程度印刷されたプリントを配付し、それらを仲間分けさせます。自力解決では、平行な辺が何組あるかという視点までは与えず、その後の学習で気付かせるようにします。

自力解決の様子

A つまづいている子

平行な辺の組に着目できず、仲間分けをすることができていない。

B 素朴に解いている子

平行な辺がある四角形と平行な辺がない四角形の2つの仲間に分類している (平行な辺の組の数には着目していない)。

C ねらい通り解いている子

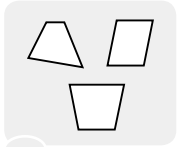
1組の辺が平行な四角形、2組の辺が平行な四角形、平行な辺の組がない四角形という3つの仲間に分類している。

学び合いの計画

Aさんには「平行な辺」の意味や平行であるかどうかを、三角定規を使って確かめる方法を確認します。Bの子供も含め、斜めの向きの辺の組も

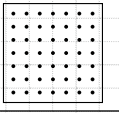
平行であるかどうか確かめさせます。Bさんには、平行な辺がある四角形の仲間をもっと詳しく分類できないか考えるよう促します。

ノート例



〈めあて〉
 平行な辺に目をつけて、四角形についてしらべよう。


〈問題〉
 右のカードの点をつないで、四角形をつくりましょう。




〈見通し〉
 ・平行な辺がある四角形
 ・平行な辺がない四角形

〈自分の考え〉
 ・2つに仲間分けできる。
 ・平行な辺がある四角形と平行な辺がない四角形。

〈友達の考え〉
 ・2組の辺が平行な四角形。
 ・3つに仲間分けできる。

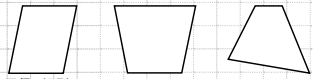
① 1組の辺が平行 → 台形 

② 2組の辺が平行 → 平行四辺形 

③ 平行な辺の組がない

〈まとめ〉
 向かい合う1組の辺が平行な四角形を台形、向かい合う2組の辺がどちらも平行な四角形を平行四辺形と言います。

〈問題〉
 次の四角形のうち、台形と平行四辺形を選びましょう。



平行四辺形 台形

〈かんそう〉
 台形、平行四辺形という新しい名前の四角形を知って、四角形についてかわしくなった。

自力解決の後、クラス全体で、四角形の仲間分けについての各自の考え方を発表する場を設定します。
 Bさんの2つの仲間分けの考え方を発表させ、平行な組の有無による分類であることを「平行な

辺」という言葉を正しく使って確認します。
 その後、Bさんの考えとCさんの考えに関連付けることで、2組の辺が平行な四角形があることに気付かせ、3つの仲間の分類について理解させていきます。

全体発表とそれぞれの考えの関連付け

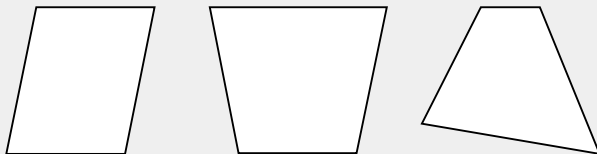
(Bさんの2つの仲間分けを紹介した後、Cさんの3つの仲間分けを提示して)
 T: Bさんの仲間分けとCさんの仲間分けの同じところを言いましょ。
 C: どちらも、「平行な辺がない四角形」が仲間になっています。
 T: Bさんの仲間分けとCさんの仲間分けの違いを言いましょ。
 C: Bさんの「平行な辺のある四角形」の仲間を、Cさんはもっと分けています。
 T: その分け方を説明できますか。
 C: (黒板の図を指しながら) こちらの仲間は、

ここ、ここ、ここに平行な辺が2つあります。
 T: このようなときは、「平行な辺の組」と言えばよいですね。この言い方でもう一度説明できますか。
 C: Cさんは平行な辺の組が2つの四角形と、平行な辺の組が1つの四角形に仲間分けしていると思います。
 (以下、「台形」「平行四辺形」という用語を指導する。)
 T: それでは、みなさんがかいた四角形に台形や平行四辺形があるか、友達と確かめてみましょう。

 学習のまとめ

向かい合う1組の辺が平行な四角形を台形、向かい合う2組の辺がどちらも平行な四角形を平行四辺形と言います。

評価問題 次の四角形のうち、台形と平行四辺形を選びましょう。



本時の評価規準を達成した子供の具体の姿

台形、平行四辺形、どちらでもない四角形であることを正しく判断している。

感想例

台形、平行四辺形という新しい名前の四角形を知って、四角形について詳しくなりました。



2けたでわるわり算の筆算

執筆/福岡教育大学附属小倉小学校教諭 小川毅彦
編集委員/文部科学省教科調査官 笠井健一
福岡教育大学教授 清水紀宏

年間指導計画	4/5月	折れ線グラフ 1けたでわるわり算
	6/7月	四角形 2けたでわるわり算
	8/9月	がい数 倍
	10/11月	計算の順序 面積
	12/1月	変わり方 小数のかけ算わり算
	2/3月	分数 直方体と立方体

本時のねらい (本時 5 / 11 時)

(2、3位数) ÷ (2位数) の筆算で仮商が大きすぎた場合の筆算のしかたを考える活動を通して、仮商の修正のしかたを理解し、筆算で計算することができるようにする。

評価規準 仮商の修正のしかたを理解し、筆算で計算することができる。(知識・技能)

問題1 252 ÷ 36 をしましょう。

T : 前の時間と同じように考えて計算しましょう。

最初はどのような手順で行いますか。

C : 商の見当を付けます。

T : 商の見当を付けるとどうなりますか。

C : $25 \div 3 = 8$ です。

T : では、続きをやってみてください。

(計算させる)

C : 36 と 8 をかけると 288 になってひけません。

T : 困りましたね。どうしたらよいか、隣のお友達と相談しましょう。(短時間で相談させる)

本時は、仮商が大きすぎた場合の筆算のしかたを考えながら、仮商の修正のしかたを理解し、筆算で計算する技能を身に付けさせていきます。はじめに、除数と仮商の積が、被除数より大きくなる場合の筆算のしかたについて話し合うことで、仮商の修正のしかたの見通しをもつことができるようにしましょう。

**学習のねらい**

見当を付けた商を直す筆算のしかたを考えよう。

見通し

- 商の見当を付けて筆算をする。
 $25 \div 3 = 8$
- 1小さい商を立てる。

T : この「8」をどのように直せばよいでしょう。

C : 商を減らしたらよいと思います。

C : 付け加えます。商を減らして7にすればよいと思います。

T : では、商を7にして計算してみましょう。

(商を7とすればうまく計算できることを確認する)

T : 次は、問題2をやってみましょう。

問題2 168 ÷ 28 をしましょう。

自力解決の様子

A つまずいている子

仮商を修正して筆算をすることができていない。

B 素朴に解いている子

仮商を1小さく修正するが、積が被除数より大きくなり、行き詰まっている。

C ねらい通り解いている子

1小さくした仮商をさらに1小さく修正して、正しい筆算をしている。

Aの子供については、授業の導入の計算をふり返らせ、商を減らす必要があることを確認しましょう。Bの子供については、1小さくしてもうまいかないことを確認したうえで、商をもっと小さくしてみるよう促してもよいでしょう。すべての子供に、最後の正しい結果だけをノートに書くのではなく、商の直し方について、考えたことをノートに残しておくよう促しましょう。

学び合いの計画

自力解決の後は、全体の場でそれぞれの子供の仮商の修正のしかたを共有する場を設定し、「割る数と見当を付けた商の積が大きすぎること」「見

当を付けた商を1小さくすること」についての気付きを価値付けて、自力解決で不十分だった点を改善しながら商の修正について探究します。

ノート例

2けたでわるわり算の筆算

〈問題1〉

252 ÷ 36 を計算しましょう。

- ・ 商の見当を付ける。
- ・ 25 ÷ 3 = 8
- ・ 36 × 8 = 288 大きすぎる

〈めあて〉

見当を付けた商を直す筆算のしかたを考えよう。

〈見通し〉

- ・ 商の見当を付けて筆算をする。
- ・ 1 小さい商を立てる。

8 - 1 = 7

36) 252
252
0

〈問題2〉

168 ÷ 28 を計算しましょう。

- ・ 16 ÷ 2 = 8
- ・ 28 × 8 = 224
- ・ 8 - 1 = 7
- ・ 28 × 7 = 196
- ・ 7 - 1 = 6 商を1ずつ小さくする

28) 168
168
0

〈まとめ〉

見当を付けた商を、1 ずつ小さくして、筆算をすればよい。

〈問題〉

① 143 ÷ 28

- ・ 14 ÷ 2 = 7
- ・ 28 × 7 = 196
- ・ 7 - 1 = 6
- ・ 28 × 6 = 168
- ・ 6 - 1 = 5

28) 143
140
3
5あまり3

② 324 ÷ 36

- ・ 32 ÷ 3 = 10
- ・ 36 × 10 = 360
- ・ 10 - 1 = 9

36) 324
324
0

〈感想〉

- ・ 商を直す回数を少なくする見方ができるようになりたい。
- ・ 商が2けたになる筆算のしかたを考えてみたい。

8?
7?



全体発表とそれぞれの考えの関連付け

見当を付けた商が大きすぎた場合の処理のしかたについて、考えたことを全体で出し合います。

- | | |
|---|--|
| T: 最初の商の見当を教えてください。 | C: 商をさらに1小さくすればよいと思います。(商を6にすれば、計算できることを確認する。) |
| C: 16 ÷ 2 = 8だから、8です。 | T: 今日の授業のふり返りをしましょう。 |
| T: 続きを教えてください。 | C: 見当を付けた商を引けないときは、商を減らします。 |
| C: 28 × 8 = 224なので、商は8ではないと思います。 | C: 商を1減らしても計算できないときは、2減らします。 |
| T: じゃあ、問題1のように、商は8から1引いた7にするとよいですね。(ゆさぶり発問) | C: 見当を付けた商を引けないときは、商を1ずつ小さくしていきます。 |
| C: 商を7にしたら、28 × 7 = 196で168より大きくて計算できません。 | |
| T: 困りましたね。この問題は計算できないのですか。 | |



学習のまとめ

見当を付けた商を、1ずつ小さくして、筆算をすればよい。

なお、28を30と見積もって商を5と見当付ける子供もいるかもしれません。このときは、 $28 \times 5 = 140$ 、 $168 - 140 = 28$ であり、商を5から6に増やす必要があることを確認します。まとめは「見当を付けた商を1ずつ小さくしたり大きくしたりして、筆算をすればよい」などとなります。

評価問題

- 143 ÷ 28
- 324 ÷ 36

本時の評価規準を達成した子供の具体の姿

- ・ 仮商を2回修正して、筆算で計算している。【評価課題①】
- ・ 仮商を10から9に修正して、筆算で計算している。【評価課題②】

感想例

- ・ 商を直す回数を少なくする見方ができるようになりたい。
- ・ 商が2けたになる筆算のしかたを考えてみたい。



技をつないで、クルリン・パッ！

連続技に挑戦！ マット運動

器械運動 ～マット運動～

執筆／新潟県新潟市立松野尾小学校教諭 小山 映
 編集委員／国立教育政策研究所教育課程調査官 塩見英樹
 新潟県新潟市立葛塚小学校校長 長谷川智

年間指導計画	4/5月	走・跳の運動 (かけっこ・リレー) 体づくり運動
	6/7月	器械運動 (マット運動) 水泳運動
	8/9月	走・跳の運動 (小型ハードル走) ゴール型ゲーム
	10/11月	表現運動 ベースボール型ゲーム
	12/1月	走・跳の運動 (幅跳び) 器械運動 (鉄棒運動)
	2/3月	ネット型ゲーム 器械運動 (跳び箱運動)

授業づくりのポイント

マット運動は、基本的な回転技や倒立技に取り組み、自己の能力に適した技ができるようにすることをねらいとしています。子供たちは、技ができたときや新しい技に挑戦するときに楽しさや喜びを感じることができるので、技に関連した感覚づくりの運動を取り入れたり、易しい場や条件のもとで段階的に取り組んだりしていくこ

とが大切です。

さらに、自己の課題を見付け、解決していくためには、自分の動きをふり返ったり、グループで技を見合ったりすることができる環境を整えることが大切です。

また、安心して学習に取り組めるように、安全には十分に配慮して授業を進めていきましょう。

楽しもう ～いろいろな技に挑戦しよう！～

まずは、感覚づくりの運動遊びや前学年までに経験した技を行いながら、新しい技の習得に必要な感覚を養っていきます。回数を決めて準備運動として取り組むこともできますが、グループ内で動きをそろえて行ったり、リレー形式で競ったりするなど、楽しみながら感覚づくりをしていく工夫もできます。

運動が苦手な子供には、場や教具を工夫して段階的に取り組めるようにしたり、体を支える補助をしたりして、無理なく運動に取り組めるように配慮しましょう。運動遊びや場、教具の効果をしっかりと伝え、その効果をお子供が自覚することで、自分の体への意識も高まり、技の上達につながっていきます。

感覚づくりの運動遊びの例

●ゆりかご



ゆっくりと揺れ、マットに触れる部分が多くなっていく感覚をつかみましょう。

●かえるの足打ち



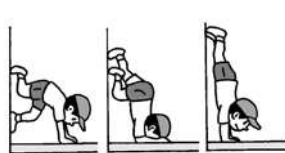
腰を高くもち上げ、足打ちの回数を増やしていきます。

●背支持倒立



腰を支え、安定した倒立姿勢をめざします。ゆりかごとの組み合わせもできます。

●壁登り倒立



お腹に力を入れることで、体幹が安定します。あごを出す姿勢も確認しましょう。

回転系や巧技系の基本的な技

●前転



●易しい場での開脚前転



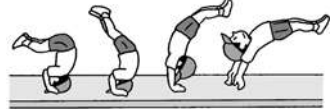
●後転



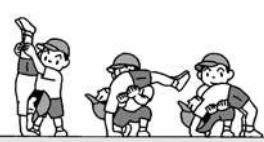
●開脚後転



●首はね起き



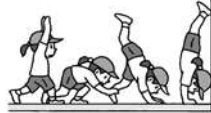
●補助倒立ブリッジ



●側方倒立回転



●壁倒立



●頭倒立

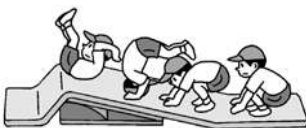


体を揺らす感覚や腕で体を支える感覚、逆さになる感覚など、運動遊びのなかで感覚をつかめるようにしましょう。

基本的な技を身に付けるために、単調にその技を繰り返し練習するだけでは、なかなかうまくいきません。「感覚づくりの運動遊び」と「適切な支援」を合わせて行いながら、学習を進めていきましょう。

運動が苦手な子供への支援例

☆場の工夫 (坂道マット)



マットの下に踏切り板を置く。

前転系や後転系の技で起き上がれない子供には、勢いがつくのでお勧めです。

☆教具の活用 (ゴムひも)



足が通る位置にゴムひもを張る。

腰やひざが伸びていない子供にお勧めです。ゴムひもなので、安心感があります。

☆補助




背中側から腰を支える。

側方倒立回転の場合、腰が曲がってしまわないように、補助をしましょう。

単元計画

*2〜4時間目は、授業の前半を前転・後転系の接転技、後半を首はね起きなどのほん転技や倒立系の技に取り組み時間に設定し、いろいろな技に挑戦できるようにします。5〜7時間目は、自分の課題となる技を決め、連続技になるように練習し、最後に発表会で披露します。

時	1	2	3	4	5	6	7	
0	●オリエンテーション ・集合や整列のしかた ・学習の進め方 ・安全にかかわる約束 ・準備・片付けの確認 ●感覚つくりの運動遊び ・動物歩き ・壁登り倒立 ・ゆりかご ・背支持倒立 ・ブリッジ ・かえるの足打ち (安全の約束) ・マットは横切らない ・マットがずれたら直す ・友達と協力して、マットを運ぶ	●感覚つくりの運動遊びをしよう ・動物歩き ・壁登り倒立 ・ゆりかご ・川とび ・背支持倒立 ・ブリッジ 						
		●いろいろな技に挑戦しよう ()は発展技 ・基本的な回転系の技【接転技群】に取り組む。 前転、易しい場での開脚前転、(開脚前転)、後転、開脚後転 ・基本的な回転系技【ほん転技群】や巧技系の技、【平均立ち技群】に取り組む。 補助倒立ブリッジ、(倒立ブリッジ)、側方倒立回転、(ロングダート)、首はね起き、(頭はね起き)、壁倒立、(補助倒立)、頭倒立			●技を組み合わせてやってみよう ・組み合わせたい技を選び、練習に取り組む。 ・技と技の間につなぎ技を使い、技を組み合わせる。 ・ロングマットでの連続技を発表する。			
45		●ふり返りをしよう (できたこと、分かったこと、困っていること)						
		運動を楽しもう			もっと運動を楽しもう			

もっと楽しもう ～技を組み合わせてやってみよう！～

単元後半では、課題とする技ができるように、単元前半で行った感覚つくりの運動遊びや運動を行う適切な支援に加え、自分の技のふり返りができるように、視覚的な支援も取り入れていきましょう。

タブレットでの撮影は、活用のしかたをしっかりと確認し、運動量が確保できるように配慮が必要です。

最後の発表会では、単元前半で学習した技を組み合わせて、一連の流れで行います。マットを連結させたロングマットを発表の場とし、技の組み合わせを考えます。自分が挑戦したい技を3つ以上合わせて、技の順番を考えたり、技のつなぎ方を工夫したりして、連続技ができるようにしていきます。

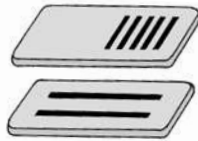
視覚的な支援の例

☆ラインマット

3本目のラインに手を着いて、大きな前転にしよう。○○さん、できたかどうか見ていてね!



カラーテープでマットにラインを引く。



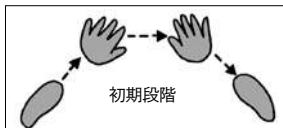
横ラインは、壁倒立や前転・後転などの手やおしりを着く位置を確認することができます。

縦ラインは、側方倒立回転の手足の着く位置や前転・後転などでまっすぐ回れているかの確認にも活用できます。

☆手形・足形

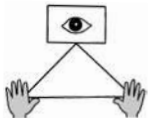


ゴムシートを手足の形に切り取り、マットに置く。スポンジやビニール輪などでも代用できる。



側方倒立回転の手足の着き方が視覚的に分かります。初期段階は手足の着く位置が台形の形からスタートし、徐々に直線の形になるように意識して取り組みましょう。

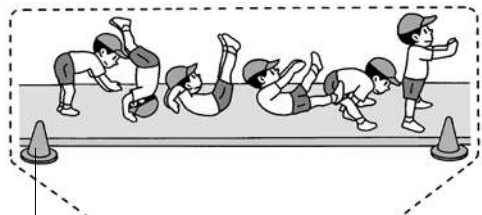
☆「目」カード



あごを出す姿勢ができるように、「目カード」も有効です。倒立系の技の場合、手を着く位置から三角形の頂点の位置にカードを置きましょう。

☆タブレットでの撮影

運動量を確保するため、授業後半に撮影タイムを設定するなど、タブレットを使用する時間を限定しましょう。



画角を安定させるために、目標物を置きます。自分や友達の動きを比較しやすくなります。

見たい部分を明確にして、真横や正面など、撮影位置を決めましょう。

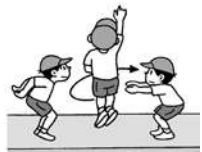
つなぎの技の例

足交差→横回転



跳びひねり

「前→後ろ」または「後ろ→前」に体の向きを変えたい場合は、つなぎの技を使いましょう。



技の組み合わせ例

前転→足交差→横回転→後転→跳びひねり→側方倒立回転

※新型コロナウイルス感染症対策として、子供に授業前後の手洗いを徹底するように指導しましょう。そして、活動中は地域の感染レベルに応じて、適切な身体的距離を確保するようにしましょう。



もぐったり浮いたり進んだりして楽しもう！ バディとバッチリ！ スイスイ水泳運動

～水泳運動～

執筆／新潟県新潟市立新潟小学校教諭 高野義友
編集委員／国立教育政策研究所教育課程調査官 塩見英樹
新潟県新潟市立葛塚小学校校長 長谷川智

年間指導計画	4/5月	走・跳の運動 (かけっこ・リレー) 体づくり運動
	6/7月	器械運動 (マット運動) 水泳運動
	8/9月	走・跳の運動 (小型ハードル走) ゴール型ゲーム
	10/11月	表現運動 ベースボール型ゲーム
	12/1月	走・跳の運動 (幅跳び) 器械運動 (鉄棒運動)
	2/3月	ネット型ゲーム 器械運動 (跳び箱運動)

授業づくりのポイント

中学年の水泳運動は、「もぐる・浮く運動」と「浮いて進む運動」で構成されます。低学年で身に付けた動きを基に、水に親しんだり競争したりすることを楽しめるようにします。

もぐる・浮く運動では、いろいろな浮き方やもぐり方を楽しみながら、全身の力を抜いて浮いたり息を吸ったり吐いたりする基本的な動きや技能を身に付けるように

します。

浮いて進む運動では、すべての泳ぎの基本となるけ伸びをしたり、浮いて呼吸をしながら進む初歩的な泳ぎ(ばた足泳ぎ、かえる足泳ぎ、面かぶり泳ぎなど)で競争したり、記録を伸ばしたりします。

二人組のバディでの学習を取り入れると、安全の確保や学習の効果を高めることができます。

楽しもう ～もぐったり浮いたり、浮いて進んだりしよう！～

単元前半では、もぐったり浮いたりする活動をたくさん行います。楽しんで行えるように、バディでの活動やじゃんけんを取り入れた活動を中心に進めます。さまざまなバリエーションを用意することで、子供たちが進んで取り組むことができるようにします。

もぐったり浮いたりする動きのなかで、呼吸につながる

部分を意識して声をかけます。

また、浮いて進む運動も、単元前半から少しずつ行い、徐々に時間を増やすようにしていきます。

この活動でもバディで交代しながら、け伸びや伏し浮きなど泳ぎにつながる動きを、楽しみながら繰り返し行えるようにするとよいでしょう。

もぐる・浮く運動

●じゃんけん底タッチ

息を吐きながらもぐると、もぐりやすいよ。



●じゃんけん股くぐり

立っている人が少しお手伝いして押してあげてもいいね。



●変身もぐり



じゃんけんをして勝った人から行ったり、バディとタイミングを揃えて同時に行ったりすると、繰り返し楽しみながら運動をすることができます。

●まりつきだるま

息を吐くと沈んでしまうから、息を止めて浮いてきてね。



●連続ポビング



だるま浮きをしている友達のを押して、水中に沈めます。浮いてきたら、また押して繰り返します(やめるタイミングを約束しておくことが大切です)。

水中で鼻や口から息を吐いたり、跳び上がった空中で息を吸ったりすることが、息継ぎへとつながっていきます。

●背浮き

ビート板を抱えて浮いてもいいよ。バディの友達が背中を支えてあげるのもいいね。



●だるま浮き

息をたくさん吸い込んでから浮いてみよう！



●変身浮き

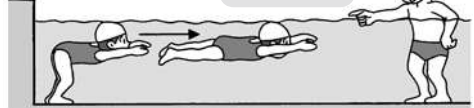


じゃんけんして勝った人が、浮き方二つを指定します(例：伏し浮きからだるま浮き)。できるようになったら三つに増やしてみましょう。

浮いて進む運動

●壁キックけ伸び

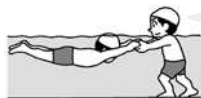
体がびーんと伸びているね。



●バディとけ伸び

力を抜いてね。耳は腕にくっつけてね。

おへそを見てグーンと進むぞ！



単元計画

※単元前半は、もぐったり浮いたりする運動を多めに行い、単元後半は、初歩的な泳ぎの記録を伸ばしたり友達と競争したりして楽しみます。

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
0	●オリエンテーション ・学習の進め方 ・水泳の心得の確認 ・パディの役割の確認 ・準備、片付けの説明 ●水に慣れよう ・バブリング ・ポピング ●もぐる・浮く運動 ・三年生での学びのおさらい (背浮き、だるま浮き、股くぐりなど)	●安全に水泳の授業を始めよう ・点呼、パディの確認 ・準備運動 ・シャワー ・水慣れ(少しずつ水に入る) もぐったり浮いたり進んだりしよう! ●もぐる・浮く運動 ○もぐる ・じゃんけん底タッチ ・じゃんけん股くぐり ・変身もぐり 座り姿勢 大の字姿勢 ラッコ(仰向け姿勢) イルカ(伏し浮き姿勢) ○浮く ・だるま浮き ・背浮き ・変身浮き だるま浮き 大の字浮き ラッコ イルカ ○浮き沈み ・せんすいかん ・だるまつき ・連続ポピング				記録を伸ばしたり、競争したりしよう! ●初歩的な泳ぎ ・呼吸しながらのばた足泳ぎ(仰向け姿勢・うつ伏せ姿勢) ・呼吸しながらのかえる足泳ぎ(仰向け姿勢・うつ伏せ姿勢) ・面かぶり泳ぎ(クロール系) ・面かぶり泳ぎ(平泳ぎ系)					
↓	ふり返りをしよう (できたことや分かったこと、友達の動きで真似をしてみたいこと)										
45	運動を楽しもう					もっと運動を楽しもう					

もっと楽しもう ～記録を伸ばしたり、競争したりしよう!～

単元後半は、初歩的な泳ぎを行う時間を多めにとるようにします。初歩的な泳ぎとは、呼吸をしながらのばた足泳ぎやかえる足泳ぎなど、クロールや平泳ぎの前段階となる泳ぎのことです。浮いて呼吸をしながら進むことが大切で、必ずしもクロールや平泳ぎの手や足の動かし方などの泳法にこだわる必要はありません。

また、練習方法や練習の場を選んで学習ができるよう

にしたり、ビート板やヘルパーなどの補助具を使用できるようにしたりします。

ただ練習をするのではなく、単元前半と同様に、自分の記録を伸ばしたり、パディのシステムを生かして距離や回数を友達と競争したりすることで、泳ぐ楽しさや喜びに触れられるようにするとよいでしょう。

もぐる・浮く運動

単元前半で行ってきたもぐる・浮く運動を、記録に注目したり、パディと競争したりできるように行います。

二人でもできるかな。息をたくさん吸って、勢いもつける必要があるね。

だんだん人数を増やしてみよう。4人でできるかな?



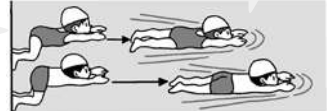
時間や回数、人数、距離の視点から、競争したり記録を向上したりできるようにします。

浮いて進む運動

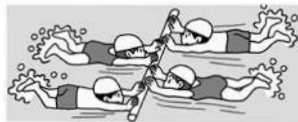
●け伸び競争

さっきより遠くに行くために、あごをちゃんと引くぞ。

3回け伸びをして遠くまで行けたほうが勝ちだよ。



●ばた足(かえる足)対決



力を入れすぎて姿勢が悪くなると、進まなくなっちゃうから気を付けよう。

初歩的な泳ぎ

●面かぶり泳ぎ

ばた足泳ぎやかえる足泳ぎの面かぶりの泳ぎに挑戦する場を設定します。子供の実態に応じて、キックの場、手の動きの場、キックと手を合わせて試す場を用意します。

場
キックの



足のうらで水をグーンと押すようにするぞ。



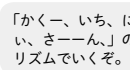
「いち、にい、さーん」のリズムで、引きつけて、開いて、閉じて伸びるんだよ。

の
場
手の
動き



ゆっくり大きくかいて、僕の手にのっけてね。

試
合
ず
せ
場



「かくー、いち、にい、さーん」のリズムでいこう。



実態に合わせて補助具を使ってもよいでしょう。

●呼吸をしながらのばた足泳ぎ・かえる足泳ぎ

つないでいる手を離したら、息継ぎしてみてね。

「いち、にい、さーん、パツ」のリズムで息継ぎするぞ。



ビート板やヘルパーを使うと、息継ぎをしやすいよ。



息継ぎをするときは、腕を下に下げるといいんだっとな。



水中で呼吸のタイミングがとりづらい子供には、陸上でタイミングを合わせる練習をしてみましょう。

※新型コロナウイルス感染症対策として、地域の感染状況に応じて、活動中は適切な身体的距離を確保します。更衣室は少人数で使用するなど考えられます。